

# 柘南中だより



令和2年7月14日 7月号

文責 岩瀬

## 教育目標

みずから考え学習する生徒  
心の豊かな生徒  
正しいことをやりとげる生徒  
健康でたくましい生徒

認めて誉めて励まして  
信じて待って見届ける

1学期も残りわずかとなりました。6月から学校が再開され、子供達は少しずつ今までのような学校生活を取り戻しつつあります。先生方も、出張等で学校を離れる機会が少なくなり、落ちついて授業や諸活動を行うことができます。

これからはばらばらの間は、「3つの密」を徹底的に避ける、マスクの着用、手洗いの手指衛生など、基本的な新型コロナウイルス感染症対策を継続する「新しい生活様式」を実践し、感染の拡大及び拡大のリスクを可能な限り低減しながら、教育活動を継続していかなければなりません。更に、熱中症対策も同時に行っていかなければなりません。これからも、生徒の安全を第一に考え、職員一同、今まで以上に連携、協力しながら、子どもの健やかな学びの支援をしていきたいと思ひます。

これからの新型コロナウイルスの感染状況の動向により、今後の各種行事等が変更や中止になる場合もございますので、ご了承願ひます。



## <3年生、部活動引退>

今年度は、残念ながら、春、夏の大会が中止となりました。このような状態で、部活を引退する各部長の感想です。

### 野球 黒崎友稀

僕達は、県制覇を目標に辛い練習も手を抜かず取り組んできました。先輩が引退し、新チームとなった8月から、13人で県制覇を目標に気持ちをひとつにしてスタートしました。迎えた秋の新人戦、厳しい試合を勝ち抜き準決勝に駒を進めました。相手は、小山城南中。7回2アウトから県出場を逃しました。その悔しさをバネに、冬練習に取り組んできました。しかし、コロナの影響で大会もなくなりました。このことで当たり前の大切さがよくわかりました。これからは、感謝の気持ちをもって引退してからも頑張ります。

### 陸上競技 橋本心乃実

私は地区大会が中止と聞いたときには、陸上部員と大会に参加している姿が浮かんできました。2年間共に汗を流して練習をし、どんなことでも陸上部らしく大きな壁を乗り越えてこられました。けれど、2年間積み上げてきた思いを発揮できずに引退することは、すごく悔しいです。だからこそ、先輩達が積み上げてきてくださった陸上部にしかない良さを後輩に繋げたいと思ひました。私は、小学校からやってきた陸上競技を中学生でも続けることができ、本当に幸せでした。辛いとき、嬉しかったときにいつも支えてくれた部員、顧問の先生方、後輩に感謝の気持ちでいっぱいです。

### サッカー 鶴見昊翔

僕は、とても悔いの残る引退となりました。3年生最後の総体がなくなり、僕たちが目標としていた総体1勝という目標を達成することができなくなりました。しかし、サッカーを通して成長す

るという方針はブレないので、残りの部活を悔いなく過ごしたいと思ひます。そして、後輩に自分が教えられるものは教えていき、後輩達に目標を達成してもらいたいです。

### 男子バスケットボール 林大翔

僕が部活を引退するにあたって考えたことは、今まで自分は、主将という立場でチームメイトに何ができたかです。練習がきつくて、時には、励まし合い、時には、心ない言葉を言ってしまったこともありました。自分たちが最後の代として、結果が残せないのは非常に残念ですが、今までチームメイトと乗り越えてきた練習は変わらないため、大会がなくなりましたが、勉強にスイッチを入れ替えていきたいです。

### 女子バスケットボール 西川怜緒乃

ひとりで入部し、最初は毎日不安でやめたくなくなるときもありましたが、たくさんの人に支えてもらい続けることができました。2年生になり、新たな仲間も増え部長となりました。試合では勝てなかったけれど、部活動は、私を大きく成長させてくれました。こんな形で引退ですが、ひとりでは出られなかった試合に出させてくれた後輩、ずっと支えてくれた顧問の先生に感謝しています。

### バレーボール 杉木里帆

私たちバレーボール部の目標は、夏の総体で県大会に出場することでしたが、新型コロナウイルスの影響のため、総体が中止になってしまいました。この目標を達成することができないことは、非常に悔しいし悲しいです。今まで辛い練習を乗り越え、共に汗を流し戦ってきた仲間には本当に感謝しています。そして部活動を通して、諦めない強い気持ち、我慢する心が身に付きました。これからの生活に生かし、頑張っていきたいと思ひます。

## 男子卓球 小森理句

この2年と何か月間、卓球部の部活動をさせてもらいました。本当に最初から最後まで、皆さんに支えてもらっていました。入部した当初から、先輩達や顧問の先生にいつも育てて導いてもらっていました。そして、部長として不安になった時でも、いつも自分についてきてくれた部員たちにも支えてもらっていました。おかげさまで運動が大の苦手だった私にも、強く誇れるものができました。周りの人達に感謝すると共に、今後の卓球部員の成長を願っています。

## 女子卓球 村上夏葉子

私たち女子卓球部は、3年生13人という大人数で今まで頑張ってきました。去年の8月、部長を務めることになりましたが、人数の多い部活動をまとめるのは想像以上に大変でした。しかし、仲間の支えがあったからこそ今まで頑張ることができました。3年生になり、大会はもちろん練習もできない状況になってしまい、悔しいという言葉では、表すことができない思いでしたが、部活で学んだことや絆を大切に頑張っていきます。

## 剣道 下枝心音

私たち剣道部は、先生方やチーム15人で、春季、夏季大会の県大会出場を目標に頑張ってきました。しかし、新型コロナウイルスの影響で私たち3年生は、目標を達成できないまま引退を余儀なくされました。私はこのことを知ったとき、「今までの練習は水の泡じゃないか。」と思いました。それでも、先生方や後輩達は、私たちの県大会への想いを引き継いでくれました。私も、剣道部を引退する最後の1日まで悔いなく活動していきます。

## 美術 杉山美咲

約2年間、私たち3年生が活動してきた部活動も終わりに近づいています。今年は、部活動の停止や体育祭の中止により、美術部一同は、看板絵やコンクールといった大きな活躍の場を失ってしまいました。そんな中で、私たちは部活を引退するにあたって、心配な面が多くあります。しかし、優しく協調性のあるこの部の皆ならどんな困難も乗り越えられるはずです。そして、私は、そんな皆を最後まで支えてあげられるような先輩でありたいと思っています。

## <第3学年PTA部会>



7/8、第3学年PTA部会を開催しました。本来ならば、7/1に全学年で授業参観後に各学年PTA部会を開催する予定でしたが、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、授業参観なしで第3学年のみの実施となりました。内容は、主に9月の修学旅行と今後の進路指導についてでした。修学旅行については旅行業者もお呼びして、感染対策等を中心に詳細に説明させていただきました。



## <お知らせ>

2年生の職場体験学習を中止にしたため、その代替として、キャリア教育、中高の連携・交流活動の一環として、9/15に、高校の先生2名(栃木高校：須藤優教務主任、青藍泰斗高校：池澤敏英教頭)を招聘し、2年生全体に、それぞれ講話(授業)をしていただくことにしました。

臨時休業中の未指導分の補習等を行うために必要な教育職員の派遣事業(県教委主体)として、7/15より短期間、学習指導員(幅沙羅さん：大学生)が配置されます。週1回、主に3年生の英語の授業で支援します。

PTA特別会計より高圧洗浄機を購入させていただきました。主に環境美化に使用させていただきます。

## <学年別スポレク大会>



今年度は体育祭を中止したので、代替として学年別クラス対抗「スポレク大会」を実施しています。いくつかの種目を学年別対抗戦で何日かに分けて実施し、勝利した種目の多さで勝敗を決めます。7月3日、3年生を皮切りに実施しました。障害物走「天国と地獄」、ドッチボールで熱戦を繰り広げました。1、2年生は、17日に実施します。

## <放課後補充学習>



6月中旬より、1時間程度、放課後補充学習を全学年対象で実施しています。パソコン室ではeライブラリに取り組んだり、配信動画を視聴したりして、わからない点や不安な点などの復習を中心とした学習です。生徒活動室では、ワークや問題集等に取り組んで、「わかる」から「できる」へ、自分の力を伸ばす学習です。パソコンを利用した学習でも、きちんとノートにメモをとりながら進めている生徒もいます。特に3年生は、受験生としての自覚と意識の高さが感じられます。

## <情報量豊富な見やすいホームページ>

保護者の皆様に、学校の様子をできるだけ伝えられるよう、ホームページを工夫しました。具体的には、学習サポートという保護者専用ページを設け、授業動画配信(現在約50本)や週末課題や定期テスト範囲一覧等、学習に関する情報を掲載しました。また、新たに給食献立表や行事予定に下校時刻なども掲載しました。今後も連絡や情報提供などを随時掲載していきます。担当は北條教頭です。